

「事業名:ドローン産業振興及び人材育成プロジェクト」 2019年度事業の概要

東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 連携市町村:南相馬市
現地拠点:南相馬市原町区萱浜巣掛場45-76

事業のポイント

東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻が有する「ドローン」(無人航空機)に関する「知」を、福島復興に資する「知」(復興知)の一部として、南相馬市に誘導・集積する。

東京大学の学生を率いて小中学校、高等学校の児童・生徒に対するドローンを用いた工学教育を教育活動として行う。また、ドローンの研究開発を「福島ロボットテストフィールド」で行い、同時に現地企業の人材育成、産業振興をはかる。

2019年度の活動内容

- ① 南相馬市の小中学生向けに、ドローンを活用したプロジェクト型(課題解決型)工学教育を展開する。
- ② 「福島ロボットテストフィールド」を活用して、小型無人航空機の飛行実験を実施しつつ、その場に現地の子供たちや企業を招き、航空工学の人材育成と産業振興をはかる。
- ③ ドローン産業振興のため、東京大学と南相馬市の企業の間で技術交流を行い、共通の目標を定めて共同研究開発を開始する。



取り組みによって得られる成果

ドローンを用いた工学教育とプログラミング教育のメソッドを福島から全国に展開される。また、最先端のドローン研究が福島から世界に発信されるとともに、新たなドローン、航空産業の拠点が誕生する。

